第17回「文芸思潮」現代詩賞 中間発表 一次・二次・三次予選

●第17回「文芸思潮」現代詩賞に御応募いただき、まことにありがとうございました。おかげさまで、日本全国および外国より二九九人から作品をお寄せいただきました。心から御礼申し上げます。去る五月三十一日に締め切らせていただき、厳正な一次・二次・三次予選審査を行ないました。その結果を謹んでここに発表させていただきます。

無印は一次予選通過者、○印は二次予選通過者、◎印は三次予選通過者です。長いタイトル、複数タイトルは短く省略させていただきます。

■北海道

◎「入出力波形観測結果」加藤光哉
○「猫」　高村晴美
◎「心の足跡」　宇川マル
「行こうぜ」　柴田節子
◎「母の死の余韻」　細川明人
「蓮」「金曜日」「蘭」暁夏
◎「南洋通信」　上木戸晃
○「わが庭の応援団」　藤嶋かをり
◎「動かない水」　中村郁恵
「生きること」　春夏秋生
◎「人類の退化」　星埜まひろ
◎「敬老会」　半田一緒
○「吊」「食」「否」　北埜まゆ
○「いつか消える」　松岡真弓

■青森県

○「清明」　南天
「過去の深淵から」　小山田良三
◎「朝を歩く」　富沢知成

■岩手県

◎「もがきながら」　三浦悳子
○「薄暮帯」　杜都聖來
◎「お前が欲しい」「魔王よ」　原氷
「たかが人間のくせに」愚ー愚流

■宮城県

○「早春」　杏　栞
○「たらちねのソナチネ」巽　子元
◎「む怒」　七羽鳩子

■山形県

○「ホワイ?」　不入斗ケイ
◎「青い歯車」　羽鳥結人
◎「DとRの会話」　このみのこ

■福島県

「朧気」　碧乃慈雨
◎「雪花の天使」　文月蘭子

■茨城県

○「はじまり」「世界」　藤﨑すず子
◎「雨音」「枯葉」「根」　薬師丸怜央
◎「私膜＜わたしまく＞」　川原裕子
◎「空き家」　天ケ谷麗
◎「ホーム」「イの有様」　あぜ
「現代詩について」　大林雄治

■栃木県

○「一輪の花」「清流」　ばなな
○「共鳴の哲学としてのナラトロジー」　中井本勝

■群馬県

◎「かみの季節」　smook
「禁教」「描く」「近況」富田永美

■埼玉県

◎「羽衣（深雪）」　坂井　傑
◎「命の河」　諸井博行
「輝いていた星よ」　福島宙空
○「スノーマン」　中澤敏幸
○「ひかり」「ギフト」　雨田洋美
◎「昇天」　福永十津
「鳳凰」「夕陽」　若林将彦
◎「美しく青く」「秋風」一橋省吾
◎「嫉妬の灰色の炎」　三日月李衣
◎「寵愛」「風鈴」　惟村来帆
◎「悦び」「おぼろ」「薪」佐藤幹夫
◎「銀杏」「悲しみ」　山下一歩
○「月ノ裏ＧＡＧＡ」　104hero
○「甲虫と白雲」　蜆川無溟
◎「朗読のための朝」　齋藤圭介
◎「温度」「海」　はんのよしえ
○「青一色の世界」「おはぎ」麗華
◎「血を流す馬」　浅見龍之介
○「鳴声」「わるくち」　綿谷　達
◎「後悔の舟」　渡部榮太

■千葉県

○「触媒」「追憶」　三島佑太
「この戦いが終わったら」　ヤス
◎「猫」「朝」「死神」　水沢朱実
○「友人」「新世界」　雲井鷹峰
◎「見えない笑い」　富田実加子
◎「異臭のことなど」　陸離
◎「ミメシス」　七まどか

◎「十月」「空腹」「掌」五十月彩
◎「膚虜」「湖畔にて」　野﨑眞由
「カーテン」「焦げ」　ＪＩＭＩ

■東京都

◎「無題」「彷徨」「三秒」　鈴蘭
「諦念」　町田　愛
○「超新星」　坂本いわき
◎「地下坑道」　松本昂幸
○「墓参り」「ハタチ」　械冬弱虫
○「春の羽根の絨毯が」いでみどり
◎「出られない楽団」　庄司直也
「間道」「獣相」「寂港」佐久間信
◎「切開」「誓願」　南斗るい
○「目眩」「海」　坂井雄大
◎「歩く」「青春」　ちる
◎「残り火が唄う」　遠藤芳子
◎「ぬけがら」　八番目の兎
◎「命日」「斜陽」　相模　透
○「恋」　大山いづみ
○「挨拶」「言葉流」　林　哲仁
○「信号」「Imagine」　村田朋博
◎「絶対性理論」　竹村　啓
◎「夜に埋まる」　渡辺八畳
◎「獣と花」「羽撃く」　小山桜子
◎「あれよあれよ」　當島伊織
◎「透明な時間」　加澄ひろし
◎「女の家」「田園」　桐ヶ谷忍
◎「女王狂い咲き」　ごうあさし
○「詩歌はよる」　耿村泗朗
○「ある美しい日に」　三宮千抄
◎「夏の幻」　てづかかなこ
「出勤」「家族」　唐木みちる
「便所清掃」「学ぶ」　立原一洋
「幸せを知らない君は」あのね
○「朝露の歌」「あくび」日暮日色
◎「キャンディの棒に眼球を」　王子真瞳
◎「叫び」「夕刻」　高橋蒼太郎
◎「腐れ縁」「結合」　河合麻衣
「黒水晶」　かとうあきら
○「貴方にとって」　春清子
◎「トビアス」　nostalghia
◎「夢幻の世界」　赤津将大
◎「二月、君と最後の海」瀬戸成海
○「2021年5月末」　鹿島　楓
◎「スタートアップ」　小堀弘樹
○「バニラアイス創成期」漠　渺
○「白い部屋」　ハマモトソウタ
◎「愛の名前」　無鳴クモ
◎「漆黒の天空」　井上遠遊
「失声症の言葉達」　藍野　哀
◎「聖観音ー薬師寺」　清水一美
○「a topos」　青野椰子
◎「夢」　柊月めぐみ
「眠るまえ」　海恵ふきる
「商店街タピオカ片手に思うこと」「帰り道」　千頭和みほ
◎「躁鬱ダイナソー」　園ヒビカ
◎「マザー」　シバフネコ
○「あれから十年」　弟子丸博道
○「夜へといたる」　佐々木蒼馬

■神奈川県

◎「死の匂い」　佐藤　裕
○「光明」「自殺」　ほかのなにか
○「夜の楽器店」　市川紫音
○「一滴の霊魂」　渋澤温芳
◎「おたがい落とし」　横山　誠
◎「さくらおと」　飛来星ラ
◎「大群の鳥」　横井純子
◎「黄泉の扉」　月夜野凪
◎「忘却」「愛」　内山健太
○「私は砂の一粒で」　辻　千穂
○「薔薇色のスカート」杜山美帆
◎「天龍車」「鐘愛しむ」堀内すゞ
「びくびくものたち」びくびくもの
◎「恍惚の世界のはじまり」めちこ
○「四つ色の恋は遥か」愛川和彦
◎「きんじ、する」　ヨクト
◎「深い霧の中から」　松原泰子
○「恋慕」「抜け殻」　関根なを
「傍ら」「ゆきまち」　田中修子
◎「哀願」「春ーダンス」藤野　行
◎「黄金の肉、銀の酒」実川阿仁
「季節と共に生きる」大澤馨櫻
◎「Yokohama Sight」　鳥ノ海開
○「光」　八百澪音
○「バレンシア宛」　安納煮芋

■新潟県

「late summer」　坂本パルコ
◎「悪魔」「彼女に靴を」橋木正午
◎「残心」「渇望の色」　本多智秋

■富山県

◎「Forever」「花束」　有澤かおり
○「てのひら」「万象」　燕昇司繁
◎「チョコレート」　たがゆうこ
「慈寂の中で往生をみる」　添美
○「明日」　あおみどり

■石川県

◎「象と少年」「わが友」吉井　裕
◎「魂と重量」　星野瑞紀
○「毒と花」「来世」七五三木薄荷

■福井県

「うみ」　はせがわたくみ
○「ある晩夏」　柾あずさ
◎「なみ」「テント」　立一　祐

■山梨県

◎「新聞配達員」　田中浩司
◎「母の握り飯」　倉沢辰子
○「どこへ」「荷物」　和樹風子

■長野県

◎「いまを生きる」　井崎　青
◎「辛夷」　西條由美子
◎「煌めく闇」「旱」　八潮　夏
◎「砂糖をまぶしながら」野葛間
◎「オアシス」　妻咲邦香

■岐阜県

◎「ワラベ歌」　中原賢治
◎「あした」「命」「雨」　海華
◎「権力」「梅雨」　磯村昭和

■静岡県

○「黒い影法師」　泰井　良
◎「偽善の夢」「病気」　水野清章
○「無色透明な解答欄」　愛闘希
◎「白昼夢」　田村全子
◎「白骨天使たち」　後藤敏斤
○「抜け殻」　あおやなぎよ
◎「このノート」　横須賀聖太
○「時」「夜のうた」「野花」　郷江

■愛知県
○「エピローグ」　瑠璃　光
○「雨桜」「真っ白」　関戸都志正
○「日本の四季と人の四季」　桜子
◎「終」「老」「死」　麻生ゆり
◎「雀」「悔恨」　森部英生
○「めぐる」「香」　早藤青里
◎「硝子の糸」　高倉麻耶
◎「郵便」「秋Ⅱ」　舟橋令偉
◎「保健室難民十七歳」雪飴さきこ
「意味の悪魔」「窓」　月中春馨

■三重県
◎「夢喰い」「まねっこ」七寒六温
○「令和二年新年に思うこと」
岩谷隆司
◎「風が辿り着く場所」安田　覚
◎「聖ヌヌギ」「暦」　上下
◎「月光」「春風」「神秘」早見　玲
○「運命」「不可能」　緑川謙太郎

■京都府
◎「喪われた子らは」　潮江しおり
○「オリオンの凧」　佐倉　潮
○「時の冥利」「老母」　沢村恵美
◎「四季」「殻」　山口たおず
◎「倒れゆく馬をみた」帆場蔵人
◎「気流」「環状線」　佐々木すみれ
◎「海」「ヒマワリ」義若ユウスケ
「水分補給」　瀬蔦しの
◎「人生と生活」　日下直哉

■大阪府
◎「螺旋階段」　興村俊郎
「サクラ　この偉大なる命」
親ゆび姫
○「物体Xは行方不明」深井眠
◎「私にくれ」「モドキ」飯干猟作
◎「空色茸」「36・5℃」谷町蛞蝓
○「はぐれもの」　望月てる
◎「祝魂歌」「0点回帰」隅田聖美
◎「蝮の子の唄」　姜　龍一
◎「一歩」「からっぽ」　春野椿事
◎「文明と幸福」　naraku
◎「隠蔽」　南　久子
◎「風化」「幽し合わせ」愛羽　文
○「類まれなるアレ」　英田はるか
◎「八月」「あめあがり」悪客しり
「Mikrokosmos」　風
◎「風と雲と会う」　松藤智会
◎「癖」「青春奉唱」　石川　新

■兵庫県
◎「笑顔の花束」　井ノ原愛里
◎「黒うろ夢」「バス」北原　満
○「異なるもの」　澤西羊太郎
○「竹林にて」「いま」入間しゅか
◎「聖夜」「三百往復」　土室寧二
「命」「愛の鏡の思い」犬笛忍
「金の臭い」ユウマヤコフスカイ
◎「優しい手」　正木ふゆみ
○「風鈴」「旅立ち」　Ameri
○「酷なことを言わないで」「君死ぬべきじゃなかった」　西田拓真
◎「永遠」「叢書」「解放」東風佳子
◎「プロフィール」内山ヒロユキ
◎「暮方群小」「烏合」　葦刈柑芍
○「マルチバース」　櫻井ゆき

■奈良県
◎「虹彩」「極彩色」　インバ

■鳥取県
「咫尺天涯」「欲ばり」綾木紗世

■島根県
◎「うむという」「昔日」橘いずみ
「サイダー」「夏」　ふき

■岡山県
◎「兎月」「湖上」「花見」　帽子
○「若人」　松嶋豊弐
「再会」「手紙」　根岸優香
◎「虫」　新里　輪

■広島県
○「茶会」「花は散る」　菊池正和
◎「足音」「今」はしのぶしげ
◎「キイロのボール」　すみれ
「DANKAIの階段」　石崎勝子
○「実在するのは」「波紋」　遊遊
○「夜がある」　もとひさいし
◎「たねまき」　いまだまりこ
○「まだあるのです」　細川万寿美

■山口県
◎「赤ちゃんの頃は」御手洗智高

■徳島県
◎「大豆から」「双葉」　村上文緒
◎「杭を打つ」　静川雅史
○「はじまりの歌」　高彦屋こまり

■香川県
「人間の幸せとよろこび」
濱崎恭子

■高知県
◎「色彩」「巡る」「終焉」恩田凍羽

■福岡県
○「蝙蝠」「青春耽歌」　玉井秀男
◎「観念豪雨警報」　岩尾宏紀
◎「正しいことは」　Rosy
◎「あくがる」「御破算」　試金
◎「道」「海辺」「雨」　吉岡幸一
○「引きこもる」　前原義郎
◎「無仏蟻紀行」　久利潤保
◎「螺旋」「渇き」　十路田道広
◎「百合が枯れる」　睡眠
◎「基礎力」「普遍」　全休俯瞰

■長崎県
◎「無常の風」　貝塚マナ
○「油売りの少女」　吉峯美美子

■熊本県
○「鳩の孤独」　藤原康次郎

「朝」「曇天」　西野　光
○「愛情」「供花」「午後」福田　福
○「ファッションしまむらに」
川嶋まこと
◎「ニセモノ」　絹本ゆい子
◎「床と皿」　アジア織子

■大分県
「真の語彙力による新しい詩の調べ」　安部あけ美
○「サタデーナイト」　仙波寛人

■宮崎県
◎「アクアスロン」
くらやまこういち
◎「矢車草」　池山弘徳
◎「藍白」「論」　御嵩伊蔵

■鹿児島県
○「手」「かごの鳥」「言葉」如月蒼

■沖縄県
◎「真昼の星」「潮の礫」　安堂
◎「魔女のエチュード」奥間　空
◎「ファ」「右掌」　あさとよしや
◎「デリリウム」　かねしろ茉衣
◎「冬、息絶える」「倅」元澤一樹

■海外
◎「コロナウイルス」　織本一十未

第17回「文芸思潮」現代詩賞中間発表

■応募者の皆様へ

第一次・第二次・第三次の選考について

第17回「文芸思潮」現代詩賞への御応募まことにありがとうございます。第一次・第二次・第三次選考について選考委員会より付記させていただきます。

第一次予選の選考基準は、詩の言葉になっているかどうかが最重要の基準点となります。またさらに訴える姿勢や言葉の強さも加味させていただきました。詩の言葉としては硬度が足りなかったり、やや稚拙であっても、他者に訴えたい切実なものが強く感じられる作品は一次を通過しています。一次予選通過には、何%とか、何篇以内とか、数字の枠はありません。したがって、応募者全員が一次予選合格ということもあり得ます。

また第二次予選は、その中でさらに強く何かが感じられるもの、詩の形としてしっかり翼を得ているもの、言葉の光るものが選ばれます。一行でもいい、一句でもいい、何か一つ心に残る新鮮な言葉、結晶度の高い言葉があるかどうか、心の真実がこもっているかどうか、思いとして滑空しているかどうかがポイントになります。

第三次予選は、よりたくさんの人に読んでほしくなるような普遍的な表現力を備えているかが、選考の基準になります。詩としてたくさんの人に読んでもらいたい普遍的な生命力を持っているかどうかがポイントです。できれば人の心に残って新たな力になるような魅力も備えていると推しやすくなります。方法として斬新なものも注目ポイントとして加えられることもあります。

「文芸思潮」選考委員会では、選考の便宜性のために通過作品数を何編以内と制限するのではなく、あくまで作品の内容を重視して、優れた作品がたくさんあれば、できるだけその作品の価値やレベルによって、作品を残すよう心がけています。したがって、場合によってはたくさんの作品が三次予選、さらにその上に選出される可能性もあります。

どうかこれらの点を御了解くださいますようお願い申し上げます。また次回もどうかこのことを念頭において御応募いただけましたら幸いです。

（「文芸思潮」現代詩賞選考委員会）